

【新型コロナ】ケベック州の一部規制緩和等に関する発表

3月16日(火)、ルゴー州首相が発表したポイントは次のとおりです。なお、首相は冒頭、4月末頃から感染は英国変異株が中心となる見通しであるとして、引き続き警戒が必要と発言しました。

夜間外出禁止令の緩和

- ・3月17日(水)から、モントリオールを含め、すべての地域で、夜間外出禁止令の適用を21:30からに変更(～05:00)。
- ・3月26日(金)から、次の3つの地域の警戒レベルを、黄色に緩和。これらの地域では夜間外出禁止令は解除。Gaspésie-Îles-de-la-Madeleine、Côte-Nord、Nord-du-Québec

その他の緩和

- ・3月22日(月)から、Capitale-Nationale、Estrie などオレンジ地域において、中等学校3年生、4年生及び5年生の授業は、毎日、対面授業に移行。
- ・3月26日(金)から、モントリオールなど赤地域においても、劇場等の再開が可能(250人まで)。

ワクチン接種

- ・4月末までに、65歳以上のすべての州内希望者に対する1回目の接種を終了する見通し。また、6月24日のケベック州国祭日までに、すべてのワクチン接種希望者に対する少なくとも1回目の接種を終了する見通し。
- ・アストラゼネカ社ワクチンは引き続き有効であり、問題はない。

【州政府HP】

<https://www.quebec.ca/premier-ministre/actualites/detail/le-couvre-feu-repousse-a-21-h-30-en-zone-rouge-des-demain/>

以上